

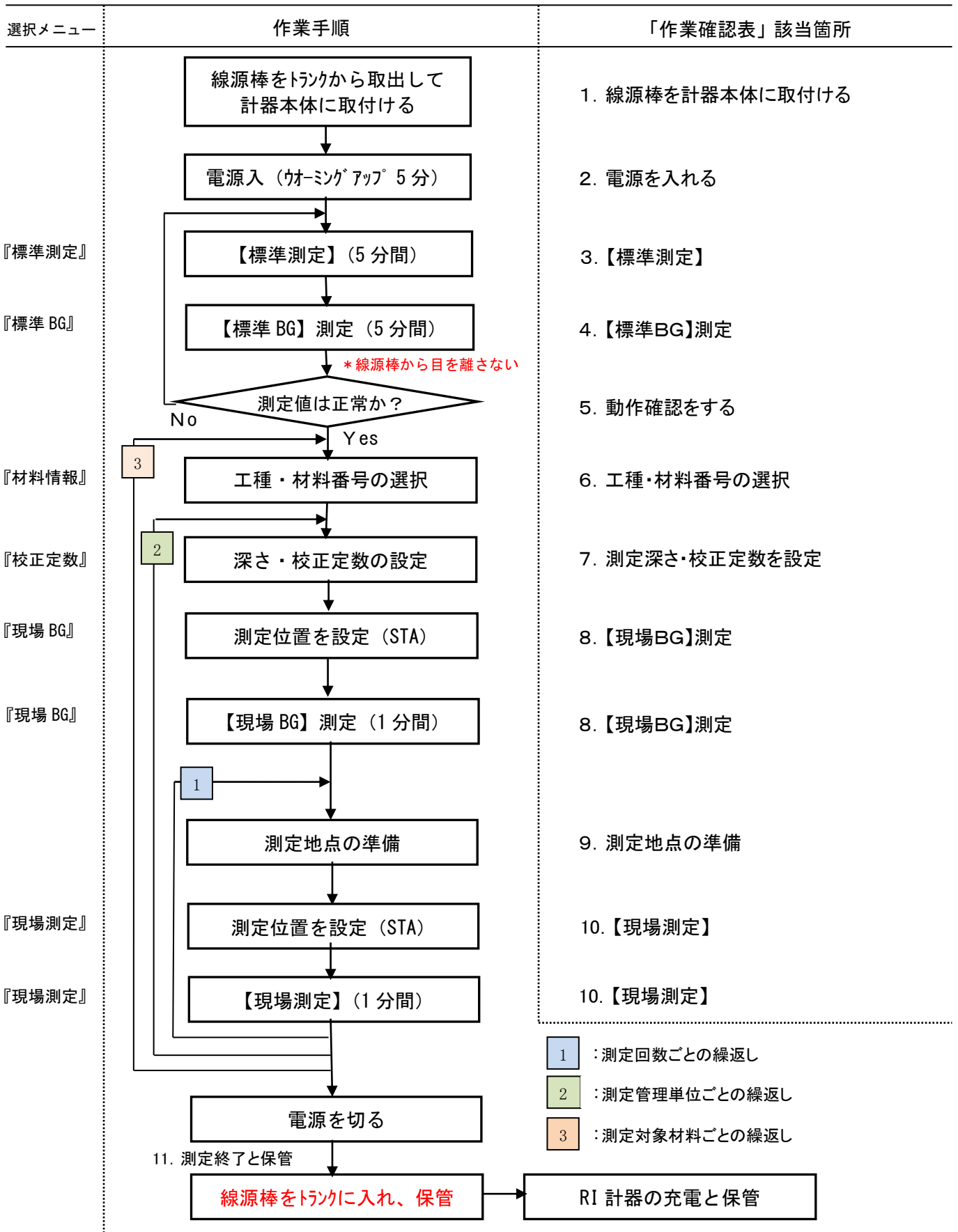
FT-107 型 R I 計器  
簡易操作説明書

《現場測定の手順》

株式会社 フィールドテック

日常の測定手順を示します。

測定対象の材料情報（基準密度/最大乾燥密度・含水比）を予め RI 計器に設定して下さい。



作業確認表

計器操作・作業	計器動作	状態及び注意等
<p>1. 線源棒を計器本体に取付ける                      トランクから線源棒を取出して、計器本体に取付ける。                      ※線源棒は深さ20cmの位置                      標準体の孔に挿し込む状態で取付け</p>		
<p>2. 電源を入れる                      つまみを回してコントラストを調整する。</p>		<p>ウォーミングアップ: 5分</p>
<p>3. 【標準測定】</p> <p>①メニュー画面にて『標準測定』を選択、                      [実行]キーを押す。</p> <p>②標準体を土・アスファルト・コンクリート上に置く。</p> <p>③標準体の周り 1.5m以内に障害物がない状態にする。</p> <p>④[実行]キーを押して測定を開始する。</p>	 <p>①測定中は残り秒を表示。                      ②5分後にブザーが鳴り、終了。                      ③自動的にメニュー画面に戻る。</p>	 <p>【注意】測定中に計器を動かすと再測定。</p>
<p>4. 【標準BG】測定</p> <p>①『標準 BG』を選択、[実行]キーを押す。</p> <p>②計器本体から線源棒を取外し、線源筒に入れ計器から20m以上離す。</p> <p>④計器本体を標準体上に設置し、[実行]キーを押す。</p> <p>⑤測定終了後、線源棒を計器本体に取付ける。</p>	 <p>①測定中は残り秒を表示。                      ②5分後にブザーが鳴り、終了。                      ③自動的にメニュー画面に戻る。</p>	 <p>【注意】線源棒を紛失しないように、線源棒から目を離さない！</p>
<p>5. 動作確認をする                      メニュー下段の( )内のアルファベットを確認する。</p>	 <p>A~L : 正常                      M~Z,* : 問題あり</p>	<p>【注意】                      M~Z,*の場合は取扱説明書を参照し、原因を取除いて再測定する。</p>
<p>6. 工種・材料番号の選択</p> <p>①『材料情報』を選択し、[実行]キーを押す。</p> <p>②  を使用して                      &lt;材料番号・工種&gt;を選択する。</p> <p>③[実行]キーを押す。</p>		<p>【備考】                      材料情報の入力範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装                              基準密度(g/cm<sup>3</sup>): 0.10~3.00</li> <li>・路盤                              最大乾燥密度(g/cm<sup>3</sup>): 0.10~3.00                              含水比(%): 0.1~100.0</li> </ul>

作業確認表

計器操作・作業	計器動作	状態及び注意等
<p>7. 線源深さ・校正定数の選択</p> <p>①『校正定数』を選択し、[実行]キーを押す。</p> <p>②線源深さ・校正定数を選択する。</p> <p>③[実行]キーを押す。</p>		<p>【備考】</p> <p>メニュー画面で『現場測定』からさらに→を押すと2 ページ目を表示します。</p> <p>現場校正定数を入力して測定する場合は校正番号 C-[1]~[9]を使用してください。</p> <p>※現場校正定数の算出方法は取扱説明書を参照</p>
<p>8. 【現場BG】測定</p> <p>①『現場BG』を選択し、[実行]キーを押す。</p> <p>②計器本体から線源棒を取外す。</p> <p>③線源棒を線源筒に入れ、計器から 20m 以上離す。</p> <p>④計器本体を測定対象上に設置する。</p> <p>⑤測定位置を設定し、[実行]キーを押す。</p> <p>⑥測定終了後、線源棒を計器本体に取付ける。</p>	 <p>①測定中は残り秒を表示。</p> <p>②1 分後にブザーが鳴り、終了。</p> <p>③自動的にメニュー画面に戻る。</p>	 <p>【注意】 線源棒を紛失しないように、線源棒から目を離さない！</p> <p>【備考】 測定位置の深さは土工最終仕上がり高からの深さ等を入力する。</p>
<p>9. 測定地点の準備</p> <p>①ベースプレートを使って広く均す。</p> <p>②打込み棒で孔をあける。</p> <p>③打込み棒を引抜く。</p> <p>④ベースプレートを取る。</p>	<p>準備作業</p> 	<p>【備考】</p> <p>②、③は測定深さ 5~20cm のみ実施</p>
<p>10. 【現場測定】</p> <p>①RI計器を地面に設置する。</p> <p>②測定位置を設定する。</p> <p>③[実行]キーを押す。</p> <p>設定した測定回数を &lt;9. 測定地点の準備&gt; から繰返す。</p>	 <p>①測定中は残り秒を表示。</p> <p>②1 分後にブザーが鳴り、測定データを印字して終了。</p>	<p>【備考】</p> <p>選択した工種により印字内容は異なります。</p>
<p>11. 測定終了と保管</p> <p>①計器本体の電源を切る。</p> <p>②線源棒を取り外し、収納トランク内の所定の位置へ格納する。</p> <p>③計器本体を充電し、保管する。</p>	<p>線源棒の収納</p>  <p>線源棒収納部</p>	<p>充電</p> 

以上